

すくわくプログラム推進事業実践報告書 2024年12月-2回目

所在地	東京都新宿区戸山1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

制作物や身近なものに音をつけて楽しむ。

<テーマの設定理由>

- ・日頃から、折り紙や絵を描くことを楽しんでいる。
- ・普段から、身近なものでイメージを膨らませながら遊んでいるので、ICT を利用することで、子どもたちのイメージを具体化して楽しめるように考えた。
- ・「絵や写真から音が出たらどんなふうになるかな？」という子どもたちから発せられた疑問を問いとして設定した。

2. 活動スケジュール

- ・2人で1チーム。3チームで行う。
(参加者：6名)
- ・活動時間 1時間（目安）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・iPad ・Kits アプリ（おとえ） ・プロジェクター
- ・エントランスを利用して、小グループで活動できるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・「おとえ」アプリの使い方、活動のスケジュールを伝える。
- ・まず、全チーム同じ写真に、いろいろな音を入れてみる。
- ・一枚目の写真に、自分たちで音を入れたものを発表し、他児の作品も見てみる。
- ・その後、制作物や園内の好きな場所の写真を撮る。
- ・最後に、自分の作品を発表し、他児の作品も見て、感想を伝え合う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・『おとえ』アプリの使用方法を説明し、エントランス内の好きな場所・ものの写真を撮影し、音をつけることを説明する。
- ・活動のスケジュールを伝える。
- ・一つの写真にいろいろな音を入れて、みんなに発表した後、チームで好きな写真を取り、音を入れていく。

(子どもたちの様子)

- ・『おとえ』を使うにあたり、どのようなお約束が必要か考えて保育者へ伝えていた。
- ・声や、ティッシュの音、紙の音、足音など、いろいろな音を写真に入れて楽しんでいた。
- ・子ども同士相談しながら音を入れることを楽しんでいた。
- ・前回も参加した子が、他児に使い方を教える様子が見られた。
- ・他のチームの発表を見て、「何の音?」と興味を持ったり、「面白い」と感想を伝えたりしていた。

(保育者の関わり)

- ・初めにお約束を子どもたちと相談する。
- ・一人ひとりではなく、チームで行うことを伝える。活動中も、自分だけで使おうとする子に声をかけ、他児と一緒に作ることを伝える。
- ・足音や、紙をクシャクシャする音、声などいろいろな音があること発見できるように紹介する。
- ・プロジェクターで子どもたちの作品を共有し、自分以外の作品を見られるようにする。他児の作品からどんな発見があるか、質問をした。

活動のが分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・アプリの使い方だけでなく、終わりの時間や、「いつ・どこで子どもたちの作品を発表するか」という話を細かくしていたので、途中で発表することやおしまいもスムーズに行うことができた。
- ・チームでの活動にしたので、子ども同士でお互いのアイデアを出しながら作成していたよかった。
- ・子どもたちは、写真からどんな音がでるか、どんな声ができるか想像しながら遊ぶことができていた。
- ・前回、写真一枚に対し一つの音を入れるチームが多かったため、今回は初めに「写真一枚に複数いろいろな音を入れてみる」という体験ができるようにやり方を伝えてから、自由制作の時間をとったが、今回も一つの写真に一つの音となっているチームが多かった。他のアプリも一緒に使って、子どもたちの発想が広がっていくように関わっていく。